

『地域健康データ』について

～地域の特性に応じた健康づくりを目指して～

【健康福祉部 地域保健課】

○事業内容

本市では、草津市健幸都市基本計画に基づき、地域の主体的な健康づくりを推進しています。

このたび、地域の特性に応じた健康づくりを地域と協働で進めるため、主に国民健康保険加入者の医療費や特定健診、市が実施するがん検診受診率などのデータを基に、小学校区ごとに男女別や年代別で草津市全体と比較するなど、生活習慣病に関する現状を分析し、全14学区の「地域健康データ」を作成しました。

今後、地区担当保健師が、分析の中で出てきた地域の健康特性や課題を、まちづくり協議会など地域の関係者と共有し、地域の健康づくりについて一緒に考えながら、取り組みを進めていきます。

○主なデータ分析項目

- ・生活習慣病医療費（入院・外来）
- ・特定健診受診率
- ・特定健診有所見率
（メタボ、糖尿病、高血圧等）
- ・特定健診質問項目
（食事、運動、睡眠、喫煙等）
- ・がん検診受診率



▲各学区の地域健康データ
(市ホームページに掲載)

○地区担当保健師の活動

地域の特性に応じた健康づくりを支援するため、平成29年度から各中学校区に1人の地区担当保健師を配置しています。地域サロンや育児サークルなどに出向いて健康教育や健康相談を実施したり、まちづくり協議会の健康福祉部会などの会議に参加したりして、地域との関係づくりを大切にしながら、地域の健康課題を把握するとともに、地域の方と一緒に健康づくりを進めています。

【意見交換】

- ・各団体で実施している健康づくりの事業等で地域とコラボできるような取組みはありませんか？
- ・若い世代にも参加してもらえる健康づくりの取組みは？

【 草津市 】

人口等の状況 (H28時点)		生活環境
人口	131,846人	人口は年々増加しており、高齢者人口の増加に伴い高齢化率も上昇しているが、地域によって大きな差がみられる。 京都・大阪のベッドタウンとして発展し、JR、国道1号、名神・新名神高速道路などの交通網を有している。 市内には、医療機関や大型商業施設、de愛ひろば、矢橋帰帆島公園などの施設も充実している。
高齢化率	21.3%	
国保加入率	21.4%	
特定健診受診率	男性：33.7% （滋賀県：34.2%） 女性：40.4% （滋賀県：41.4%）	

市民の健康状態 (H28)

【 国 保 】

特定健診受診者における有所見者の割合

(☺：滋賀県より高い)

項目	草津市		滋賀県	
	男性	女性	男性	女性
血糖値(100mg/dl以上)	21.0%	11.0%	22.9%	12.4%
HbA1c(5.6%以上)	61.1% ☺	55.7% ☺	51.7%	48.5%
収縮期血圧(130mmHg以上)	50.2% ☺	46.6% ☺	49.3%	44.5%
拡張期血圧(85mmHg以上)	20.9%	15.1% ☺	22.4%	13.5%
中性脂肪(150mg/dl以上)	33.0% ☺	22.6% ☺	29.1%	18.8%
HDLコレステロール(40mg/dl未満)	6.9%	1.3%	8.0%	1.8%
BMI(25以上)	27.5% ☺	18.7%	27.3%	18.8%
腹囲(男性：85cm以上、女性：90cm以上)	50.1%	16.8% ☺	50.6%	16.5%

- 男女ともに特定健診受診率が滋賀県より低い。
- 男女ともにHbA1cの有所見率が高く、5割を超えている。
- 男女ともに収縮期血圧の有所見率が高く、女性は拡張期血圧も高い。
- 男女ともに中性脂肪の有所見率が高い。
- 男女ともにメタボリックシンドローム該当者は滋賀県より高い。
- 男女ともに運動習慣がない・毎日の活動量が少ない人の割合が約5割である。

課題

- 特定健診の受診率向上に向けた取組みが必要である。
- 生活習慣病の発症予防や重症化予防に向けた取組みが必要である。

【志津学区】

人口等の状況（H28時点）		生活環境
学区人口	12,890人	住宅開発で人口が増えており、若い子育て世代が多く、高齢化率も市内で3番目に低い地域。 幅広い年齢層がいるため、子どもから高齢者まで誰もが楽しめる健康づくりに取り組んでいる。「志津けん玉広場」では、粘り強さや集中力などを育み、良好な人間関係づくりにもつなげている。
高齢化率	17.3%	
国保加入率	17.6%	
特定健診受診率	男性：35.2% （市内5位） 女性：41.4% （市内3位）	

市民の健康状態（H28）

【国保】

特定健診受診者における有所見者の割合

（☺：市平均より高い）

項目	男性	女性
血糖値（100mg/dl以上）	17.1%	11.1% ☺
HbA1c（5.6%以上）	59.5%	55.7%
収縮期血圧（130mmHg以上）	49.1%	47.0% ☺
拡張期血圧（85mmHg以上）	17.6%	10.8%
中性脂肪（150mg/dl以上）	35.1% ☺	24.7% ☺
HDLコレステロール（40mg/dl未満）	10.8% ☺	2.4% ☺
BMI（25以上）	31.5% ☺	25.1% ☺
腹囲（男性：85cm以上、女性：90cm以上）	52.3% ☺	18.1% ☺

○男女ともに半数以上の人々が特定健診を受診していない。特に40歳代、50歳代の若い世代の受診率が20%台と低い。

○メタボリックシンドローム該当者の割合が男女ともに市と比較して高く、女性は予備群の割合も市と比較して高い。

○男女ともに収縮期血圧の有所見率が約5割と高く、男性では、40歳代や60歳代前半の拡張期血圧も高い。

○男女ともにHbA1cの有所見率が約6割と高く、男性では40歳代の有所見率が市と比較して高い。

○男女ともにLDLコレステロールの有所見率が高く、男性では50歳代や60歳代前半の中性脂肪の割合も高い。

○男女ともに運動習慣がない・毎日の活動量が少ない生活習慣の人が約半数いる。男性は、20歳の時の体重から10kg以上増加している、飲酒習慣毎日の割合も高い。

【その他】

○協会けんぽでは、中性脂肪の有所見率が市内で1番高い。

課題

○高血圧、糖尿病、脂質異常症を予防し、狭心症をはじめとする重症化疾患にならないように、若い時から自分で生活習慣を整える方法を身につける必要がある。

【志津南学区】

人口等の状況 (H28時点)		生活環境
学区人口	6, 191人	開発されて30年以上経つ地域や10年経っていない地域等様々であり、高齢化率が40%近い地域もあれば、子育て世代が多い地域もある。 まちづくり協議会では、「憩いとやすらぎがあり誰もが安心して住み続けられる町」をめざして、ノルディックウォーキングなど健康づくりに取り組んでいる。
高齢化率	18.8%	
国保加入率	19.3%	
特定健診受診率	男性：46.1% (市内1位) 女性：41.4% (市内3位)	

市民の健康状態 (H28)

【国保】

特定健診受診者における有所見者の割合

(☺：市平均より高い)

項目	男性	女性
血糖値(100mg/dl以上)	26.8% ☺	9.6%
HbA1c(5.6%以上)	65.9% ☺	45.8%
収縮期血圧(130mmHg以上)	52.4% ☺	37.9%
拡張期血圧(85mmHg以上)	20.1%	11.3%
中性脂肪(150mg/dl以上)	36.6% ☺	24.3% ☺
HDLコレステロール(40mg/dl未満)	3.7%	1.1%
BMI(25以上)	18.3%	13.6%
腹囲(男性：85cm以上、女性：90cm以上)	44.5%	8.5%

○男女ともに特定健診の受診率は市と比較して高い。

○男性のメタボリックシンドローム該当者の割合は市内で1番高く、予備群の割合も市内で3番目に高い。

○男性ではHbA1cの有所見率が高く、全ての年代で市と比較すると高い。また、血糖値は、50歳代と60歳代前半の有所見率が高い。

○男性の収縮期血圧の有所見率が高く、特に50歳代、60歳代前半で市と比較すると高い。また、50歳代では拡張期血圧の有所見率も高い。

○男女ともにLDLコレステロールの有所見率が高い。男性では、50歳代の中性脂肪と40歳代と60歳代前半のHDLコレステロールの有所見率が市より大きく上回っている。女性では、50歳代と65歳以上の中性脂肪が市と比較すると高い。

○男女ともに運動習慣がない、毎日の活動量が少ない人が約半数いる。また、男性では、毎日飲酒習慣のある人は約5割と、市と比較すると高い。

【その他】

○協会けんぽでは、1日30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施している割合は30.7%であり、約7割ができていない。

課題

○特に男性の高血圧、糖尿病、脂質異常症を予防し、狭心症をはじめとする重症化疾患にならないように、若い時から自分で生活習慣を整える方法を身につける必要がある。

【矢倉学区】

人口等の状況 (H28時点)		生活環境
学区人口	9, 831人	昔から交通の要衝として栄え、現在も主要幹線道路やJR琵琶湖線が通り、利便性の高い地域。 昭和に住宅開発があった地域では高齢化が進んでいるが、南草津駅まで徒歩圏内のため、働き世代の転入も多く、新旧の住民が混在している町内会もある。
高齢化率	23.0%	
国保加入率	22.1%	
特定健診受診率	男性：30.9% (市内12位) 女性：40.9% (市内6位)	

市民の健康状態 (H28)

【国保】

特定健診受診者における有所見者の割合

(☺：市平均より高い)

項目	男性	女性
血糖値(100mg/dl以上)	25.0% ☺	14.6% ☺
HbA1c(5.6%以上)	62.2% ☺	64.8% ☺
収縮期血圧(130mmHg以上)	43.1%	48.3% ☺
拡張期血圧(85mmHg以上)	16.5%	16.2% ☺
中性脂肪(150mg/dl以上)	32.4%	19.4%
HDLコレステロール(40mg/dl未満)	5.9%	1.0%
BMI(25以上)	23.4%	18.7%
腹囲(男性：85cm以上、女性：90cm以上)	44.7%	14.0%

○男女ともに半数以上の人々が特定健診を受診していない。特に、男性の40歳代、50歳代、60歳代前半、女性の40歳代、50歳代の若い世代の受診率が10～20%台と低い。

○男女ともにHbA1cの有所見率が高く、特に女性では全ての年代で、有所見率が市と比較して高い。血糖値は、男性では50歳代と65歳以上で、有所見率が市と比較して高い。

○男性では、50歳代と60歳代前半の中性脂肪とLDLコレステロールの有所見率が高い。また、男女ともに40歳代のHDLコレステロールの有所見率が高い。

○入院医療費では、男性では慢性腎不全（透析あり）の割合が2番目で市と比較して高い。外来医療費では、男女とも慢性腎不全（透析あり）の割合が1番目で市と比較して高く、糖尿病の割合も上位に入っている。

○男女ともに運動習慣がない、毎日の活動量が少ない人の割合が高い。また、男性では、20歳の時の体重から10kg以上増加している、飲酒習慣毎日の割合も高い。

【その他】

○協会けんぽでは、HbA1c5.6%以上の割合は市内で3番目に低く、県・全国と比較して低い。

課題

○高血圧、糖尿病を予防し、狭心症をはじめとする重症化疾患にならないように、若い時から自分で生活習慣を整える方法を身につける必要がある。

【草津学区】

人口等の状況（H28時点）		生活環境
学区人口	10,702人	市内で5番目に人口が多く、高齢化率も5番目に高い地域で、市の高齢化率を上回っている。 草津宿本陣をはじめ宿場町の名残が感じられる商店街があり、新しいマンションもたくさん増えている一方で、昔ながらの住宅地も多く、混在している地域。
高齢化率	23.2%	
国保加入率	23.1%	
特定健診受診率	男性：32.5% （市内7位） 女性：39.5% （市内9位）	

市民の健康状態（H28）

【国保】

特定健診受診者における有所見者の割合

（☺：市平均より高い）

項目	男性	女性
血糖値（100mg/dl以上）	16.5%	10.5%
HbA1c（5.6%以上）	58.0%	53.6%
収縮期血圧（130mmHg以上）	50.0%	54.9% ☺
拡張期血圧（85mmHg以上）	22.8% ☺	17.8% ☺
中性脂肪（150mg/dl以上）	42.9% ☺	19.7%
HDLコレステロール（40mg/dl未満）	8.0% ☺	1.0%
BMI（25以上）	27.7% ☺	20.4% ☺
腹囲（男性：85cm以上、女性：90cm以上）	49.1%	19.7% ☺

○男女ともに半数以上の人々が特定健診を受診していない。

○男性は中性脂肪、LDL・HDLコレステロール有所見率が市と比較して高く、特に40歳代で高い。女性はLDLコレステロールの有所見率が市と比較して高い。

○男性の脂質異常症の1人当たり外来医療費は、50歳代が市内で飛び抜けて高い。

○女性の1人当たり入院医療費は、脂質異常症が市内で3番目、動脈硬化が2番目に高い。

○女性の1人当たり入院・外来医療費は、筋・骨格が高く、特に関節疾患の割合が高い。

○男女ともにBMIと腹囲の40・50歳代の有所見率が市と比較して高い。

○男女ともに20歳の時からの体重増加がみられる人の割合は40歳代で最も高い。

○男女ともに食生活の乱れや運動習慣がない人の割合が若い年代で高い。

【その他】

○協会けんぽでは、LDLコレステロールの有所見率が市内で1番高い。

○協会けんぽでは、BMIの有所見率が市内で3番目に高い。

○女性は乳がんの検診受診率が市と比較して低い。

課題

○脂質異常症の予防のために40歳代からバランスの良い食事や運動習慣を身につけることが必要。

○女性の関節疾患予防のために筋力低下予防・体重管理を行うことが必要。

【大 route 区】

人口等の状況 (H28時点)		生活環境
学区人口	11,521人	公共交通機関が発達し、駅前商店街やスーパー、高層マンションなどが多く、転入者も多い地域。 まちづくりセンターに健康器具を設置し、「運動の日」を定め大会議室を開放したり、ノルディックウォーキングを行うなど、年代を問わず体を動かすことができる取り組みを行っている。
高齢化率	16.8%	
国保加入率	14.6%	
特定健診受診率	男性：32.6% (市内6位) 女性：38.3% (市内12位)	

市民の健康状態 (H28)

【国保】

特定健診受診者における有所見者の割合

(☺：市平均より高い)

項目	男性	女性
血糖値 (100mg/dl以上)	17.8%	8.2%
HbA1c (5.6%以上)	57.2%	40.0%
収縮期血圧 (130mmHg以上)	53.3% ☺	43.3%
拡張期血圧 (85mmHg以上)	23.7% ☺	13.5%
中性脂肪 (150mg/dl以上)	30.3%	22.4%
HDLコレステロール (40mg/dl未満)	7.2% ☺	0.8%
BMI (25以上)	27.6% ☺	13.1%
腹囲 (男性：85cm以上、女性：90cm以上)	54.6% ☺	14.7%

○男性7割、女性6割の人が特定健診を受診していない。

○男性の40歳代で脂質異常症に関する有所見率が高い。

○男性は40・50歳代で収縮期・拡張期血圧の有所見率が高い。

○男性のメタボリックシンドローム予備群の割合は市内で2番目に高く、国・県と比較しても高い。

○男性の40・50歳代で運動習慣がない人が8割以上いる。

○男性のがんの1人当たり入院・外来医療費が市と比較して高く、特に外来医療費が高い。

○女性のLDLコレステロールの有所見率は50歳代以上で6割を超える。

【その他】

○協会けんぽでは、運動習慣がない人の割合が国や県と比較して高い。

○協会けんぽでは、LDLコレステロールの有所見率が国・県と比較して高い。

○がん検診は、全ての検診で受診率が低く、特に40～50歳代の男性が低い。

課題

○脂質異常症、高血圧、肥満予防のために40・50歳代からバランスの良い食事や運動習慣を身につける必要がある。

【渋川学区】

人口等の状況（H28時点）		生活環境
学区人口	9, 580人	市内で最も高齢化率が低いが、約10年後には市の高齢化率を超え、急激に高齢化が進むことが予測されている。 まちづくり協議会では、ノルディックウォーキングの実施や体組成計の設置、いきいき健康ノートの作成など、住民の方が自分の体の状況を把握し、自身で健康管理できる環境を整えている。
高齢化率	16.2%	
国保加入率	16.3%	
特定健診受診率	男性：36.9% （市内3位） 女性：46.4% （市内2位）	

市民の健康状態（H28）

【国保】

特定健診受診者における有所見者の割合

（☺：市平均より高い）

項目	男性	女性
血糖値（100mg/dl以上）	16.8%	9.3%
HbA1c（5.6%以上）	60.6%	45.1%
収縮期血圧（130mmHg以上）	44.5%	40.9%
拡張期血圧（85mmHg以上）	13.5%	14.4%
中性脂肪（150mg/dl以上）	27.1%	21.4%
HDLコレステロール（40mg/dl未満）	9.0% ☺	1.2%
BMI（25以上）	24.5%	12.5%
腹囲（男性：85cm以上、女性：90cm以上）	45.8%	14.0%

○男女ともに半数以上の方が特定健診を受診していないが、市内では男性が3番目、女性が2番目に受診率が高い。

○男女ともにLDLコレステロールの有所見率が市と比較して高く、特に男性はLDL・HDLコレステロールともに若い年代で高い。

○男女ともに収縮期血圧の有所見率は市と比較して低いが、4割を超えている。

○男性の脳梗塞の1人当たり入院医療費が市と比較して高い。

○男性の高血圧と狭心症の1人当たり外来医療費が市と比較して高い。

○男女ともにHbA1cの有所見率は市と比較して低いが、男性6割、女性4割を超えている。

○女性の糖尿病の1人当たり入院医療費は、市内で2番目に高い。

○男女ともに40・50歳代で運動習慣がない人の割合が高い。

【その他】

○協会けんぽでは、高血圧症に関連する医療費が市内で1番高い。

課題

○高血圧症、糖尿病、脂質異常症にならないようなバランスの良い食習慣と運動習慣を身につけることが必要。

【老上学区】

人口等の状況（H28時点）		生活環境
学区人口	9,078人	高齢化率が市より低く、比較的若い世代が多い地域。南草津駅前にはマンションが立ち並び、転入者も多くみられる。 地域住民の交流を深めるために、餅つきを行ったり、誰もが気軽に集える場所として、ボランティアグループが「カフェほっこり」を立ち上げるなどの取組みを行っている。
高齢化率	19.3%	
国保加入率	19.6%	
特定健診受診率	男性：36.6% (市内4位) 女性：39.8% (市内7位)	

市民の健康状態（H28）

【国保】

特定健診受診者における有所見者の割合

（☺：市平均より高い）

項目	男性	女性
血糖値（100mg/dl以上）	21.3% ☺	7.8%
HbA1c（5.6%以上）	65.5% ☺	67.6% ☺
収縮期血圧（130mmHg以上）	50.3% ☺	41.4%
拡張期血圧（85mmHg以上）	21.8% ☺	16.8% ☺
中性脂肪（150mg/dl以上）	31.5%	24.6% ☺
HDLコレステロール（40mg/dl未満）	7.1% ☺	0.8%
BMI（25以上）	25.4%	13.9%
腹囲（男性：85cm以上、女性：90cm以上）	44.2%	11.9%

○男女ともに6割以上の人が特定健診を受診していない。

○HbA1cの有所見率が男女とも6割を超えており、市内で2番目に高い。

○男性は収縮期血圧・拡張期血圧ともに有所見率が市と比較して高く、特に60歳以上男性で収縮期血圧の有所見率が高い。

○男性50歳代、女性40歳代の若い世代で、運動習慣がない・活動量が少ない割合が高い。

○男女ともに食べる速度が速い割合が高い。

【その他】

○協会けんぽでは、HbA1cの有所見の割合が高く、市内で3番目に高い。

○市のがん検診は、男性は大腸がん、肺がん、女性は肺がんの受診率が低い。

課題

○糖尿病をはじめとする生活習慣病にならないように、若い時から自分で生活習慣を整える方法を身につける必要がある。

【老上西学区】

人口等の状況（H28時点）		生活環境
学区人口	8,479人	平成28年に老上学区と分離し、特に40歳代の人口が多い地域。 大規模なショッピングモールや病院、数多くの就学前施設や介護サービス施設、帰帆島公園などがあり、比較的生活に便利な立地となっている。
高齢化率	20.2%	
国保加入率	20.2%	
特定健診受診率	男性：30.3% （市内13位） 女性：34.7% （市内14位）	

市民の健康状態（H28）

【国保】

特定健診受診者における有所見者の割合

（☺：市平均より高い）

項目	男性	女性
血糖値（100mg/dl以上）	13.2%	9.6%
HbA1c（5.6%以上）	61.8% ☺	70.1% ☺
収縮期血圧（130mmHg以上）	46.1%	50.3% ☺
拡張期血圧（85mmHg以上）	17.8%	18.8% ☺
中性脂肪（150mg/dl以上）	38.2% ☺	24.9% ☺
HDLコレステロール（40mg/dl未満）	5.9%	1.5% ☺
BMI（25以上）	24.3%	20.3% ☺
腹囲（男性：85cm以上、女性：90cm以上）	43.4%	18.3% ☺

○男女ともに約7割の人が特定健診を受診していない。

○HbA1cの有所見率が男女とも6割を超えており、女性は市内で1番高い。

○女性は収縮期血圧・拡張期血圧ともに有所見率が高い。

○中性脂肪の有所見率が男女とも高く、男性は市内で2番目、女性は3番目に高い。

○男性50歳代、女性40歳代の若い世代で、運動習慣がない・活動量が少ない割合が高い。

○男女ともに、朝食を抜く、夕食後に間食するといった食習慣がみられる。

○男女ともに喫煙率が高い。

【その他】

○協会けんぽでも、朝食を抜く、夕食後に間食する、就寝前に夕食をとるといった食習慣が多くみられる。

○市のがん検診は、男性は大腸がん、肺がん、女性は肺がんの受診率が低い。

課題

○糖尿病や脂質異常症にならないように、生活習慣を整えるなどの予防行動を自らとれる必要がある。

【玉川学区】

人口等の状況（H28時点）		生活環境
学区人口	11,583人	南草津駅前周辺はマンションが建設され急速な都市化が進んでおり、学生や子育て世代など若い年齢が多い。一方、山手側の住宅地など一部では、高齢化が進んでいる。 まちづくり推進会議では、「健昂（すこやか）委員会」を立ち上げて、健康づくり事業の推進を図られている。
高齢化率	18.2%	
国保加入率	19.6%	
特定健診受診率	男性：32.4% （市内8位） 女性：38.7% （市内11位）	

市民の健康状態（H28）

【国保】

特定健診受診者における有所見者の割合

（☺：市平均より高い）

項目	男性	女性
血糖値（100mg/dl以上）	24.7% ☺	13.4% ☺
HbA1c（5.6%以上）	62.9% ☺	61.7% ☺
収縮期血圧（130mmHg以上）	53.1% ☺	44.2%
拡張期血圧（85mmHg以上）	25.3% ☺	14.5%
中性脂肪（150mg/dl以上）	38.1% ☺	20.8%
HDLコレステロール（40mg/dl未満）	4.1%	0.4%
BMI（25以上）	32.0% ☺	16.0%
腹囲（男性：85cm以上、女性：90cm以上）	55.7% ☺	14.5%

○男女ともに特定健診を6割以上の人が受診していない。

○男性の特定健診有所見率は、HbA1cが6割を超え、高血圧、高脂血症、腹囲が約5割となっている。60歳以上で、BMI、腹囲、糖尿病の有所見率が高い。

○男性では、20歳時から10kg以上の体重増加した人は4割を超え市内2位と高く、60歳以上で市内1位、40歳代で市内4位と高い。

○女性の特定健診有所見率は、HbA1cとLDLが6割を超えている。

○女性は、メタボ該当者・予備群の割合は市全体より低い。

○男女ともに、朝食の欠食率、夕食後の間食、就寝後2時間以内の夕食をとる人の割合が市平均より高く60歳代で高い。

○男女ともに運動習慣がない、活動量が少ない人が5割を占め、男性は市内4番目に高い。

【その他】

○協会けんぽでは、腹囲の有所見率が約4割で市内で1番高い。

○市のがん検診では、男性は、肺がん・大腸がんの受診率が低い。女性は、胃がん・肺がん・大腸がんの受診率が低い。

課題

○肥満にならないように働き盛りの若い世代や、定年退職を迎えた年代が、生活習慣を見直し、生活習慣病の重症化を防ぐ必要がある。

【南笠東学区】

人口等の状況（H28時点）		生活環境
学区人口	7,911人	学生マンションが数多く立ち、20歳から24歳の人口が際立って多い地域である。バスの便が少なく、スーパーも少なく、開業医が学区にはない。 まちづくり協議会では、「健幸なまち南笠東プロジェクト推進チーム」によるイベントや講座など健康啓発への取組みが活発である。
高齢化率	18.7%	
国保加入率	23.4%	
特定健診受診率	男性：32.1% (市内11位) 女性：39.8% (市内7位)	

市民の健康状態（H28）

【国保】

特定健診受診者における有所見者の割合

(☺：市平均より高い)

項目	男性	女性
血糖値（100mg/dl以上）	26.0% ☺	13.7% ☺
HbA1c（5.6%以上）	65.3% ☺	61.3% ☺
収縮期血圧（130mmHg以上）	56.0% ☺	50.0% ☺
拡張期血圧（85mmHg以上）	19.3%	17.9% ☺
中性脂肪（150mg/dl以上）	32.7%	25.5% ☺
HDLコレステロール（40mg/dl未満）	4.0%	0.5%
BMI（25以上）	25.3%	22.6% ☺
腹囲（男性：85cm以上、女性：90cm以上）	47.3%	18.9% ☺

○男女ともに6割以上の方が特定健診を受診していない。

○男女ともに特定健診有所見率は、HbA1cが6割を超え、高血圧、脂質異常が約5割を超える。

○女性のメタボ該当者は市内2番目に多い。

○女性は筋骨格の一人当たりの医療費が高く、市と比較しても高い。

○運動習慣がない、活動量が低い割合は、女性は5割以上を占め市と比較しても高い。

○就寝前2時間以内に夕食を週3回以上とる人が、男性の2割を占め市内で1番高い。

○20歳時から10kg以上の体重増加の割合は、男性は約4割、女性は約2割である。

○男性の一人当たり入院医療費は、慢性閉塞性肺疾患（COPD）が最も高い。

【その他】

○協会けんぽでは、高血圧、脂質異常の有所見率が市内2番目に高い。

○協会けんぽでは、夕食後に間食をとる人が2割を超え市内2番目に高い。

○協会けんぽでは、喫煙する人が3割を超え、市内で1番高い。

○市のがん検診は、男女ともに肺がん、大腸がんの受診率が市内で最も低い。

課題

○特定健診やがん検診を定期的に受け、自分の健康状態の把握や、生活習慣を見直すことで、生活習慣病の予防や重症化を図る。○女性は、筋骨格系疾患を予防し、介護予防を図る。

○禁煙したい人が禁煙できるように働きかけ、喫煙者の減少を図る。

【山田学区】

人口等の状況（H28時点）		生活環境
学区人口	7,892人	駅から遠く、学区内にスーパーや医療機関が少なく、車や公共交通機関が主な移動手段となる。 まちづくり協議会の健康福祉部会では、健康に関する講座の実施や、ふれあいまつりでは健康測定コーナーで住民の健康状態のチェックによる健康啓発を実施している。
高齢化率	29.2%	
国保加入率	31.4%	
特定健診受診率	男性：32.1% (市内10位) 女性：41.3% (市内5位)	

市民の健康状態（H28）

【国保】

特定健診受診者における有所見者の割合

（☺：市平均より高い）

項目	男性	女性
血糖値（100mg/dl以上）	26.0% ☺	12.6% ☺
HbA1c（5.6%以上）	55.2%	56.5% ☺
収縮期血圧（130mmHg以上）	52.5% ☺	49.5% ☺
拡張期血圧（85mmHg以上）	28.3% ☺	16.4% ☺
中性脂肪（150mg/dl以上）	28.7%	23.3% ☺
HDLコレステロール（40mg/dl未満）	7.2% ☺	2.2% ☺
BMI（25以上）	35.9% ☺	21.8% ☺
腹囲（男性：85cm以上、女性：90cm以上）	54.3% ☺	19.9% ☺

- 男女ともに半数以上の人々が特定健診を受診していない。
- 男女ともに収縮期血圧・拡張期血圧の有所見率が高い。
- メタボリックシンドローム該当者の割合が女性は市内で最も高い。
- 男女ともにHbA1cの有所見率が5割を超えている。
- 男性のBMIの有所見率が市内で最も高く、男女ともに60歳代に多い。
- 男女ともに腹囲の有所見率が高く、60歳以上に多い。
- 若い世代で運動習慣がない、活動量が少ない割合が高い。
- 若い世代で、夕食後の間食や就寝前夕食、食べる速度が速いといった食習慣がみられる。
- 若い世代の喫煙率が高い。

【その他】

- 協会けんぽでも、腹囲・BMIの有所見率が高い。
- 市のがん検診は、男性は胃がん、女性は胃がん、子宮頸がん、乳がんの受診率が低い。

課題

- 肥満をはじめ高血圧や糖尿病を予防できるよう、若い時から自分で生活習慣を見直し、整える方法を身につける必要がある。

【笠縫学区】

人口等の状況（H28時点）		生活環境
学区人口	10,863人	高齢化率は市内で2番目に高く、古くからの新興住宅地が多くあり、一人暮らし高齢者が最も多い学区。 まちづくり協議会では、「健康寿命」を延ばすことを目的に健康のまちづくりを推進しており、「かさねい健康フェスタ」を毎年開催している。
高齢化率	29.3%	
国保加入率	26.1%	
特定健診受診率	男性：32.4% (市内9位) 女性：35.7% (市内13位)	

市民の健康状態（H28）

【国保】

特定健診受診者における有所見者の割合

（☺：市平均より高い）

項目	男性	女性
血糖値（100mg/dl以上）	20.5%	10.9%
HbA1c（5.6%以上）	62.5% ☺	57.0% ☺
収縮期血圧（130mmHg以上）	52.7% ☺	47.2% ☺
拡張期血圧（85mmHg以上）	23.5% ☺	14.8%
中性脂肪（150mg/dl以上）	30.7%	24.3% ☺
HDLコレステロール（40mg/dl未満）	6.8%	2.0% ☺
BMI（25以上）	26.9%	17.9%
腹囲（男性：85cm以上、女性：90cm以上）	53.8% ☺	19.6% ☺

○男女ともに6～7割の人が特定健診を受診しておらず、市内でも受診率が低い学区。

特に、40歳代の受診率は男女とも低い。

○特定健診有所見率のうち、男女ともにHbA1cの有所見率が高く、市と比較すると、男性は40歳代、女性は50歳代で高くなっている。

○特定健診質問項目のうち、継続した運動習慣を持っていない人が約5割と高く、特に60歳以上の男性でその傾向が強い。また、若い世代の男性において食習慣が乱れている傾向がみられる。

【その他】

○協会けんぽでは、食習慣の乱れが県や全国を上回っている。

○がん検診受診率では、男性はいずれの検診も市と比較すると高くなっているが、女性は乳がんは13位、胃がん、大腸がん、子宮頸がんは最下位である。

課題

○糖尿病にならないよう、男女ともに40歳以前からの糖尿病予防を心がけた食事、運動習慣を身につける必要がある。

【笠縫東学区】

人口等の状況（H28時点）		生活環境
学区人口	10,348人	もともとの在所と新興住宅地が混在した地域で、近年、大型スーパーや商業店舗が立ち並ぶなど開発が進んでおり、高齢化率は市内で4番目に高い地域です。 まちづくり協議会では、「健康ウォーキングの実施」「早寝・早起き・朝ごはん運動の実施」「健康リーダーの育成」を通じて、地域の健康づくりを推進している。
高齢化率	24.2%	
国保加入率	23.1%	
特定健診受診率	男性：39.3% （市内2位） 女性：49.2% （市内1位）	

市民の健康状態（H28）

【国保】

特定健診受診者における有所見者の割合

（☺：市平均より高い）

項目	男性	女性
血糖値（100mg/dl以上）	22.0% ☺	11.0%
HbA1c（5.6%以上）	62.7% ☺	47.9%
収縮期血圧（130mmHg以上）	48.3%	42.8%
拡張期血圧（85mmHg以上）	18.3%	13.9%
中性脂肪（150mg/dl以上）	28.3%	20.3%
HDLコレステロール（40mg/dl未満）	6.7%	1.5% ☺
BMI（25以上）	28.3% ☺	19.8% ☺
腹囲（男性：85cm以上、女性：90cm以上）	54.3% ☺	19.6% ☺

○男女ともに特定健診受診率が高く、男性は2位、女性は1位。ただし、年代別にみると、男性では40歳代、女性では65～74歳で、市と比較すると低い。

○特定健診有所見率では、男女ともに、メタボ予備群、メタボ該当者の割合が高くなっている。（男性：1位、2位 女性：1位、3位）

○特定健診問診結果では、男女ともに、「毎日の活動量が少ない」「運動習慣がない」「毎日飲酒あり」の割合が市と比較すると高くなっている。

【その他】

○協会けんぽでも、受診者数は市内1位。「毎日の活動量が少ない」が6割以上、「喫煙あり」については約3割で市内2位と高い割合。

○がん検診では、男性は大腸がん、肺がんは市内1位と高いが、胃がんは10位と低い。女性では、肺がんは市内1位と高いが、大腸がん、胃がんはどちらも市内で9位と低い。大腸がんはH25～28において、70歳代を除くすべての年代で大きく低下。胃がんは65歳以上の受診率が低くなっている。

課題

○仲間づくりとともに働き盛りの世代も含めた、気軽に運動を続けられるメタボリックシンドローム予防の地域づくりが必要である。

【常盤学区】

人口等の状況（H28時点）		生活環境
学区人口	4, 977人	人口が市内で最も少なく、高齢化率が最も高い。他学区と比べ3世代同居の割合が高く、地域同士のつながりも残っている。独居や高齢者だけの世帯も増加。公共交通手段が少なく、病院や商店も少なく、生活に不便を感じる人が多い。 まちづくり協議会を中心に、各種健康講座や、つながりづくり活動を実施。
高齢化率	29.6%	
国保加入率	27.9%	
特定健診受診率	男性：26.7% （市内14位） 女性：39.1% （市内10位）	

市民の健康状態（H28）

【国保】

特定健診受診者における有所見者の割合

（☺：市平均より高い）

項目	男性	女性
血糖値（100mg/dl以上）	15.5%	9.7%
HbA1c（5.6%以上）	53.4%	57.1% ☺
収縮期血圧（130mmHg以上）	53.4% ☺	53.7% ☺
拡張期血圧（85mmHg以上）	21.6% ☺	14.3%
中性脂肪（150mg/dl以上）	31.0%	25.7% ☺
HDLコレステロール（40mg/dl未満）	9.5% ☺	1.1%
BMI（25以上）	30.2% ☺	24.6% ☺
腹囲（男性：85cm以上、女性：90cm以上）	50.0%	19.4% ☺

- 男女ともに6～7割の人が特定健診を受診しておらず、市内でも受診率が低い学区。特に、男性は50～59歳、65～74歳、女性は65～74歳の受診率が市と比較すると低い。
- 男性は高血圧、女性は肥満に関する項目の有所見率が高く、年代別では、男性では40歳代～50歳代、女性では50歳以上で割合が高くなっている。
- 特定健診有所見率のうち、男女とも「収縮期血圧」が市内で2番目に高い。
- 特定健診質問項目のうち、男性では「喫煙あり」が27.6%で市内で最も高く、男女とも「運動習慣がない」「食べる速度が速い」人の割合が高い。「就寝前夕食」は男性は市内で最も低く、女性は最も高い割合。

【その他】

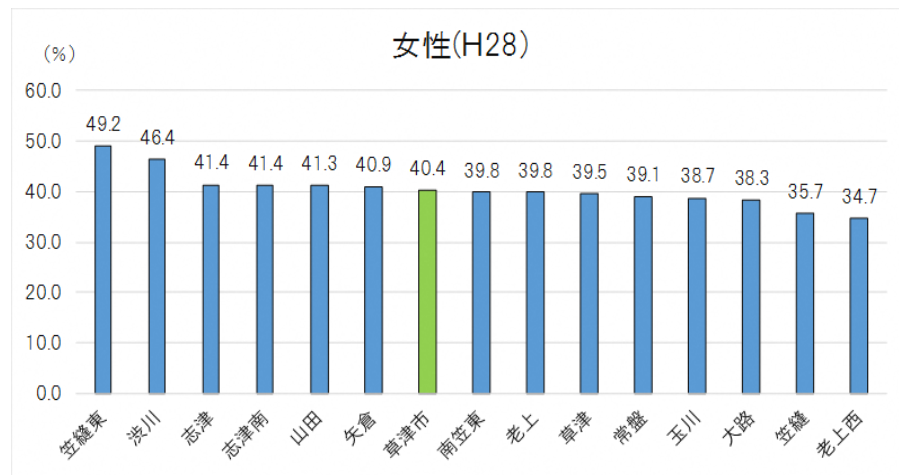
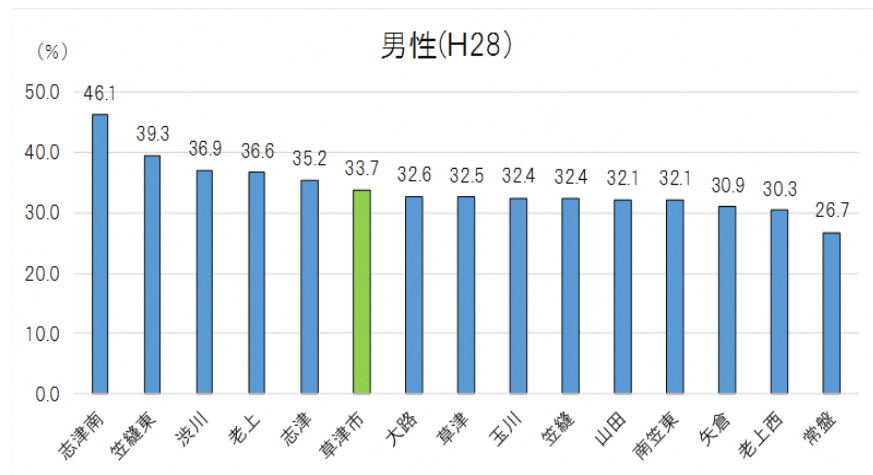
- 協会けんぽでは、男女とも「収縮期血圧」「拡張期血圧」の有所見率が市内で最も高い。
- 小学校女子の「肥満傾向＋肥満児童1～6年生合計」の割合が市と比較すると高い。
- がん検診受診率では、女性は、大腸がんは市内で最も高いが、子宮頸がんは12位、胃がん、乳がんは最も低い。

課題

- 高血圧や肥満にならないよう、男女とも40歳以前から、生活習慣病予防を心がけた生活を送り、重症化を防ぐ必要がある。

■各学区のデータ比較（一部抜粋）

① 特定健康診査受診率



② メタボリックシンドローム該当者（H28）

